

区分・種別	名勝		
名称	ほしがもり（よこみねじいしづちさんようはいじよ） 星ヶ森（横峰寺石鎚山遥拝所）		
所在地	西条市小松町石鎚		
所有者	横峰寺、西条市	管理団体	
指定年月日	平成29年10月13日		
解説	<p>石鉄山横峰寺は四国八十八ヶ所霊場第60番札所で、霊峰石鎚山に続く山地の北側中腹（標高約750m）に位置する。星ヶ森は境内地の南西端、加茂川によって開析された石鎚山北側の谷を挟んで石鎚山脈とほぼ並走する尾根稜線の鞍部（標高約820m）に所在する霊峰石鎚山の遥拝所である。「星ヶ森」の名称は、空海がこの地で星に除災求福を祈る法会の星供養を行ったことに由来すると伝えられている。『四国遍路道指南』（貞享4〈1687〉年）に記載がみられることから、遅くとも江戸時代前期には鉄の鳥居が設けられていたことが窺われる。『四国遍路名所図会』（寛政12〈1800〉年）や『四国遍路道中雑誌』（弘化元〈1844〉年）には、石鎚山に向かって尾根の鞍部に鳥居が描かれ「石鉄山遥拝」と記されている。星ヶ森は、石積みによって平場を成し、鉄の鳥居や弘法大師坐像を安置する石龕を配する。霊峰石鎚山を北側から南方に向かって遥拝する固有の展望地点として江戸時代以来の名所で、信仰に関連する優れた風致景観を觀賞する場として重要である。</p>		

